



# MX-25 Fluxbox マニュアル

## MXユーザーマニュアルの補足

[DeepL](#) による翻訳

### 目次

1. はじめに .....	2
2. 設定 .....	3
2.1 デフォルト .....	3
2.2 伝統的 .....	8
3. Fluxboxの詳細 .....	10
3.1 ルートメニュー .....	10
3.2 その他のメニュー .....	11
3.3 スタイル (テーマ) .....	11
3.4 壁紙 .....	12
3.5 ショートカット .....	12
3.6 設定ファイル .....	13
3.7 スリット .....	14
3.8 オーバーレイ .....	14
3.9 ウィンドウ設定とコントロール .....	14
3.10 画面オプション .....	14
4. FAQ検索 .....	15
5. リンク .....	17

# 1. はじめに

MX-25 Fluxboxへようこそ！

MX Fluxbox (MXFB) は、MX Linuxの最小限の「ベース」バージョンであり、そのまま使用可能です。設計上、他のMX Linuxバージョンに自動的に含まれるすべてのソフトウェアは含まれていません。ただし、デスクトップアイコン「Software」をクリックして**MX Packageインストーラー**を起動することで、追加のソフトウェアを簡単にインストールできます。そこでは、オフィススイート（例：LibreOffice）、グラフィックエディター（例：GIMP）、ビデオプレーヤー（例：VLC）など、多様なアプリケーションを見つけることができます。

名前が示すように、MXFBはウィンドウの配置と外観を制御する[ウィンドウマネージャーとしてFluxbox](#)を採用しています。その小さなメモリ使用量と高速な起動時間は、リソースの少ないシステムで非常に効果的であり、高性能マシンでは非常に高速です。

MXFBは2つの基本構成で実行可能で、その間に多くのバリエーションが存在します：

- **デフォルト構成では**、高度なパネル「tint2」と複数のグラフィカルアプリケーションおよびコンポーネントを組み合わせています。
- **Fluxboxは**、ネイティブの「ツールバー」と最小限のデスクトップデザインを組み合わせています。

初めて使用するユーザーは、MX-23バージョンの概要を確認すると役立ちます：



[MX-](#)

[Fluxbox：新機能](#)

## 2. 設定

### 2.1 デフォルト

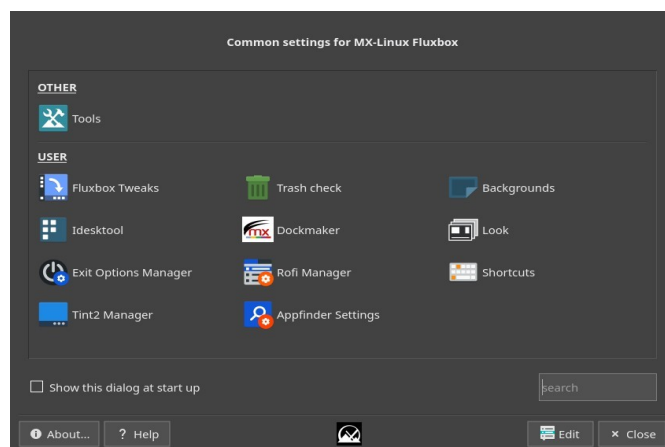


Fluxbox デスクトップ（conky は MX-25 のデフォルトではありません）。左上角から時計回りに、主なコンポーネントは以下の通りです：

- 1 デスクトップアイコン、セクション2.1.1
- 2 デスクトップシステム情報（=conky）、セクション2.1.2
- 3 tint2 パネル、セクション 2.1.3
- 4 ネイティブドック、セクション 2.1.4
- 5 隠し（ルート）メニュー、セクション 2.1.5

**注：**このドキュメントにおける「メニュー」という用語は、デスクトップで右クリックした際に表示されるルートメニューを指します。

新規ユーザーが最初に訪れる可能性が高いのは、ドック（赤いアイコン）、パネル（ギアアイコン）、またはルートメニューからアクセスできる設定**マネージャー**です。そこにリストされているネイティブアプリは、優れた利便性と柔軟性を提供します。そこから「ツール」アイコンをクリックすることで、独自の**MXツール**に慣れることができます。



表示されているパネル、デスクトップ、ドックのアイコン以外にも、アプリケーションは次のいずれかの方法で起動できます：

- パネルのスタート（MXロゴ）ボタンをクリックしてAppfinderを開く
- デスクトップを右クリックしてメニューにアクセスする
- デスクトップを右クリック: メニュー> Debian のようなカテゴリ別一覧を表示する「すべてのアプリ」を選択
- キーボードのロゴキー（Windows または Apple アイコン）を押して、利用可能なアプリの一覧を表示します
- Ctrl+F2を押して、実際のプログラム名を入力するための小さな実行ウィンドウを表示します。Shift+Enterを押すと、ターミナルでコマンド（例：スクリプト）を実行できます

この冗長性は、ユーザーが特定のタスクに最も適切な方法を選択したり、単に個人の好みに合わせて選択したりできるようにします。

### 2.1.1 デスクトップアイコン

**非表示：**メニュー> 表示しない> アイコンの表示/非表示を切り替える

**アイコンを削除：**アイコンを中クリックしてiDesktoolを起動

**停止：**メニュー> 画面外> iDeskの表示/非表示を切り替え管

**理：**メニュー> の外観> デスクトップアイコンヘルプ: [Wiki内](#)



デスクトップアイコンは、MX Linux開発者およびユーザーが適応・現代化・拡張して作成した古いアプリ「iDesk」により、MXFBで有効化されています。このツールはiDesktoolとして再リリースされ、メニュー> 表示> デスクトップアイコンからアクセス可能です。

このツールはMX Fluxbox でのデスクトップ アイコンの使用を大幅に簡素化します。非常に直感的で、使用方法に関する疑問はほとんど生じないはずです。

デスクトップアイコンの基本的なマウス操作（設定は ~/.ideskrc ファイル内）、\* デフォルトの「ソフトウェア」アイコンを例に説明します：

操作	マウス	説明
実行	左クリック	MX パッケージ インストーラーを開きます
Altキーを押しながら実行	右クリック	アクションメニューを開く
管理	中央（スクロールボタン）の単一クリック	アイコンに焦点を合わせたiDesktoolを開く
ドラッグ	左クリックを押したまま、離すと停止	

\* 「~」はユーザーのホームフォルダーのショートカットです： ~/.ideskrc= /home/&lt;username&gt;/.ideskrc



## 2.1.2 デスクトップシステム情報

### Conky

非表示: メニュー> 画面外> Conkyの表示/非表示を切り替える

Conky設定: メニュー> 外観> Conky

停止: メニュー> 設定> 設定ファイル> 起動: *conkystart* をコメントアウト

管理: メニュー> 外観> Conky

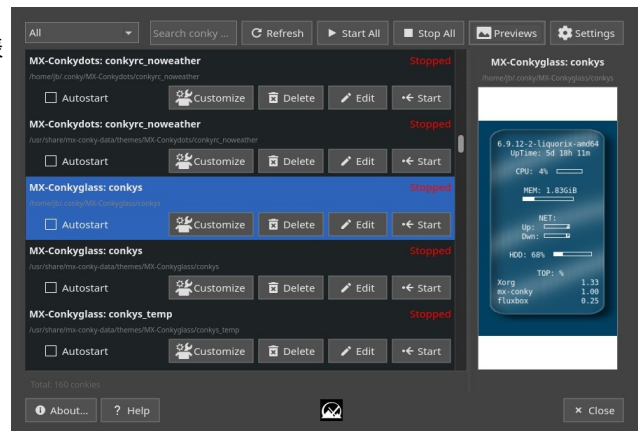
ヘルプ: ウィキ内: [MX Conky](#)

Conkyは、高いカスタマイズ可能性を備えたデスクトップシステム表示ツールです。MX Fluxboxユーザーは、メニューから「>」→「外観」→「>」→「Conky」を選択することで、MX Conkyを起動し、豊富なMX Conky設定（configs）を利用できます。このツールは、基本的な管理機能に加え、色調整などの高度な機能も備えた便利なツールです。

Conky を管理する簡単な手順:

- 設定ファイルを選択して表示を確認します。
- 「カスタマイズ」ボタンをクリックして、グラフィックモードで位置や色などの設定にアクセスできます。
- 「編集」ボタンをクリックして、テキストエディターで Conky スクリプトを手動で編集できます。スクリプトの編集には、一部のコーディングスキルが必要です。
- 注意: カスタマイズまたは編集を行うには、設定ファイルをホームフォルダーに保存する必要があります  
~/.conky/ というフォルダーに保存する必要があります。このフォルダーには変更権限が必要です。

より複雑なコンキーを設定するには、コンポジターを使用する必要がある場合があります。メニューから「> 設定」→「設定」→「起動」を選択し、コンポジターに関する行のコメントを外して、次のようにします: *picom & amp;*



### モニター (gkrellm)

非表示: メニュー> 画面外> モニター切り替え

モニタ設定: 上部バーを右クリックしてメニューを表示

停止: 設定> 設定ファイル> 起動: *gkrellm* をコメントアウト

管理: メニュー> 外観> モニター

ヘルプ: <https://www.youtube.com/watch?v=G2F2YoZM63Y>

[GKrellM](#) は、システムモニターを単一のプロセススタックとして表示する優れたデスクトップシステム情報表示ツールです。トップバーの「設定」を右クリックしてインデックスを表示することで、多くのオプションが利用可能です:

- 一般
- 組み込み

- プラグイン

- テーマ

GKrellMの設定にはコードの編集は不要です。MXにはデフォルトでいくつかのテーマが付属しており、オンラインで多くのテーマが見つかります。プラグインはSynapticで「gkrellm」を検索してインストールできます。

### 2.1.3 tint2 パネル

**非表示:** メニュー> 表示しない> 自動非表示パネルの切り替え

**削除:** 手動: ~/.config/tint2/ ディレクトリから設定ファイルを削除してください。

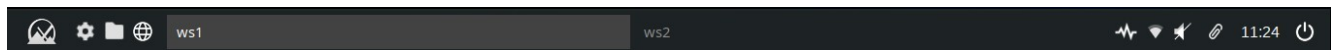
**停止:** 手動: 「startup」 ファイルの該当行の先頭にコメント記号 (#) を追加してください

**管理:** メニュー> MX Fluxbox ツール> Tint2 マネージャー

**ヘルプ:** [Wikiを参照](#)

ネイティブ（または伝統的な）Fluxboxツールバーは、機能とデザインの両面で、現在の多くのユーザーが期待するものと大きく異なります。そのため、高度にカスタマイズ可能なアプリ「**tint2**」を使用して、代替ツールバーが開発されました。両者を切り替えることができます：メニュー> 表示> ツールバー

> Fluxbox/tint2。トグルをクリックすると、デフォルトの設定ファイル *tint2rc* に戻ります。異なる設定ファイルを使用している場合は、ログアウトしてから再度ログインすることで、選択した設定を復元できます。



**アイコン（左から右）：**アプリファインダー、MX Fluxbox ツール、ファイルマネージャー、ブラウザ、[ws1=ワークスペース 1]、アップdater、ネットワークマネージャー、サウンド、クリップボードマネージャー、時計、終了オプション。システムトレイ内の順序は新しいセッションで変更される場合があります。

#### 警告

新しいパネルを作成する場合（MXのデフォルトパネルから開始しない場合）、一部のFluxboxバージョンでエラーが発生する可能性があります。パネルの幅を100%に設定すると、パネルが誤った位置に配置される（例：画面の下部の上に浮く）可能性があります。さらに、tint2 パネルが配置されるべき場所にスペースが予約されるため、tint2 が誤った位置に配置されている場合、最大化されたアプリが画面を埋め尽くさないように見えます。

2つの解決策があります：

- 幅を99%に設定すると、パネルが元の位置に戻ります。
- パネルの幅を「100%」に設定し、1ピクセルの水平マージンを追加します。

>使用中のパネルを変更するには、スタートボタン横のギアアイコン、ドック上の赤いギアアイコン、またはメニューの「>」→「Settings」→「>」→「Config files」→「Tint2 panel」をクリックします。これにより設定マネージャーが起動し、「**Tint2 manager**」をクリックできます。画面には~/.config/tint2/内のすべてのTint2設定が表示されます。Tint2をドックとして使用することも可能です。**詳細はTint2マネージャーの例を参照してください。**

任意のパネル設定の要素を変更できます。グラフィカルエディターを使用するには「Config」ボタンをクリックし、ファイルを直接編集するには「Edit」ボタンをクリックします。

グラフィカルエディターには、2つのアプリケーションが含まれています：

- 「テーマ」には、ユーザーのディレクトリにあるすべてのtint2設定ファイルと、インストール時に読み込まれたいくつ

かの設定ファイルが表示されます。



- 「プロパティ」には、現在実行中の設定の機能が表示されます。プロパティウィンドウが表示されていない場合は、左上隅の小さなギアアイコンをクリックしてください。

「プロパティ」ウィンドウでグラフィックエディターを使用し始めるための一般的な操作をいくつか紹介します：

- ランチャーの追加/削除。左側の「ランチャー」エントリをクリックします。右側のパネルには2つの列があります：左側はツールバーに現在表示されているアプリケーションのアイコンのリスト、右側はインストールされているすべてのデスクトップアプリケーションのリストです。矢印キーでアイテムを上下に移動できます。
  - **追加:** 右側のリストから追加したいアプリケーションを選択し、中央の「左矢印」アイコンをクリックし、その後「適用」ボタンをクリックすると、ツールバーに即時追加されます。
  - **削除:** 手順を逆に行います。
- パネルの移動またはサイズ変更。左パネルの「パネル」項目をクリックし、右パネルで配置とサイズを選択します。その後、「適用」ボタンをクリックします。ここでもスクロールダウンして、必要に応じて「自動非表示」チェックボックスをオンにできます。
- 日時形式の変更。12時間表示と24時間表示を切り替えるには、Tint2 Managerのメイン画面にある専用の「12h/24h」ボタンを使用します。その他の変更は、左側のパネルの「時計」項目をクリックし、「最初の行の形式」または「2番目の行の形式」フィールドを好みの形式に変更します。[Wiki内のコード](#)。

注意: 設定を変更する前に、現在の設定をバックアップしてください。例えば、

~/config/tint2/tint2rc をクリックし、新しい名前（例：tint2rc\_BAK）で保存します。その後、バックアップファイルからカスタマイズした行をすべて、新しい tint2rc 設定ファイルの適切な場所にコピーします。

## 2.1.4 ドック

**非表示：**メニュー> 画面外> 自動非表示ドックの切り替え

**削除/追加（ドックアイテム）：**メニュー &gt; 表示 &gt; Dockmakerデフォルトのド

**ックを停止：**メニュー> Out of sight> デフォルトのドックを無効化管理：メニュー

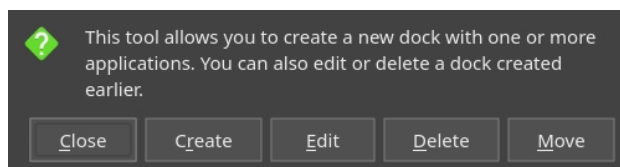
&gt; 表示 &gt; Docks &gt; Dockmaker

**ヘルプ:** [ウィキ内](#)



MX-Fluxbox: 強力なツール

MXFBには、*wmalauncher*を活用するネイティブアプリ「Dockmaker」が搭載されており、ユーザーがドックの作成、編集、管理を簡単に行うことができます。



デフォルトのドック（~/fluxbox/scripts/DefaultDock.mxdk）には、以下のアイテムが含まれています：

- MX Tools
- ヘルプ（このマニュアル）
- MX Videos
- 設定マネージャー

## 2.1.5 ルートメニュー

メニューはデフォルトで非表示になっており、デスクトップを右クリックすることで表示されます。多くの機能や設定に素早く簡単にアクセスできる便利な機能です。詳細は[セクション3.1](#)を参照してください。

## 2.2 伝統

伝統的なFluxbox設定を好むユーザーにとって、設定は非常に簡単です。実行中のセッションに対して、以下の変更を必要に応じて行ってください:

- メニュー> 設定> ツールバー> Fluxbox
- メニュー> 表示設定> ドックの削除
- メニュー> 画面外> Kill conky
- メニュー> 表示しない> iDeskの切り替えとアイコンの切り替え

変更を永続化するには、メニュー> 設定> 設定ファイル &gt; 起動の関連する行をコメントアウト（#）して、次のようにします:

```
#$HOME/.fluxbox/scripts/DefaultDock.mxdk #conkystart
#idesktoggle idesk on 1&gt;/dev/null 2&gt;&amp;1 &amp;
```

## ツールバー

### 伝統



元のツールバーには（`~/.fluxbox/init` で設定されたとおり）、以下のコンポーネント（左から右へ）を含めることができます:

- **ページャー** ワークスペースを前へ（右クリック）または後へ（左クリック）移動できます。Ctrl + F1/F2/ など、Ctrl-Alt + ←/→ またはデスクトップの空いている部分でスクロールホイールを使用するのと同じ動作です。番号と名前は `~/.fluxbox/init` で設定され、「ws」は「ワークスペース」を表します。
- **workspace name** デフォルトでinitに「ws1, ws2, etc」として設定されます（ws=workspace）。
- **iconbar** ここで開いているアプリはアイコンで表示され、関連するアイコン（ツールバー自体を含む）を右クリックすることでさまざまなウィンドウオプションが利用可能です。> iconbar のモード。デフォルトは「すべてのウィンドウを表示」です。

- **systemtray** Xfceの通知領域に相当します。~/fluxbox/startupにリストされ、systemtrayオプションを持つアプリがここに表示されます。
- **時計** 12/24時間表示の変更には、メニュー > 設定 > 設定ファイル > クイック設定 > ツールバーを使用します。その他の変更には、メニュー > 設定 > 設定ファイル > init > 手動編集を選択し、Ctrl+F を押して「strftimeFormat」を検索し、必要に応じて変更します。短い日付を追加するには、%b %d を使用できます。その他の時間/日付オプションは、[Wiki](#)で確認できます。

## Enhanced MX Style



拡張 MX ツールバーは伝統的なツールバーと同じ情報を表示できますが、ツールバー「ボタン」の最近の機能を活用してランチャーを追加できます。上の画像では左端（L/R）に配置されています：

- アプリファインダー
- ルートメニュー
- MX Fluxbox ツール
- ファイルマネージャー
- ウェブブラウザ
- ページャー（三角形）
- 終了オプション

両方のツールバーはinitの設定に従います。拡張ツールバーは、Fluxboxのデフォルト設定に追加のツールバー設定を追加し、フォント設定をオーバーレイにも配置します。

## リソース

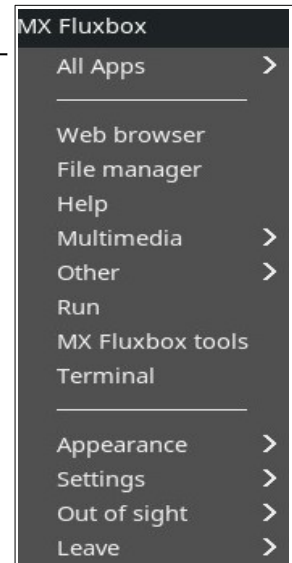
[MX Fluxbox: 伝統的なモード](#)

## 3. Fluxboxの詳細

### 3.1 ルートメニュー

この短い静的なメニュー (`~/fluxbox/menu-mx`) は、`~/fluxbox/submenus` に配置された3つのサブメニュー（外観、設定、非表示）を統合しています。結果として得られるルートメニューは3つのセクションに分割されています：

- 上部
  - **すべてのアプリ**: Debian スタイルのカテゴリ別メニューです。パッケージのインストールや削除後に自動的に更新され、手動で「更新」をクリックして更新することもできます。自動更新を停止するには「無効化」をクリックしてください。
- 中央セクション: よく使用するアプリを直接開くリンク。
- 下
  - 外観
  - 設定
  - 目立たないように（要素を非表示にする便利なコマンド）
  - Leave



新しいユーザーは、そのメニューを順に確認することで、その内容、機能、速度、柔軟性を理解するのに役立ちます。

#### 編集

特に魅力的な点は、これらのメニューが完全にユーザーの制御下にあることです。ルートメニュー内の要素を変更、追加、または再配置できます。編集したいメニューファイルを「メニュー」から開きます

> 設定 > メニューを設定します。

メニュー項目の一般的な構文は次のとおりです: `[exec] (名前) {コマンド}` – 角括弧、丸括弧、中括弧を正しく使用してください。

**例1:** 「Music player」を「Strawberry」に変更して、DeaDBeeFではなく開く

- 「DeaDBeeF」という単語を含む行を探します（必要に応じてCtrl+Fを使用）`[exec]`  
`(Music player) {deadbeef}`
- コマンド部分で「deadbeef」という単語をダブルクリックしてハイライト表示し、「strawberry」と入力して保存すると、次のような結果になります:  
`[exec] (Music player) {strawberry}`
- 保存して終了 – 変更はすぐに適用されます。

#### 例2: メニューにZoomを追加する

- この例では、共通アプリセクションに新しいカテゴリ「Chat」を追加し、そこにZoomを追加するものとします
- サブメニューコマンドを使用してカテゴリを作成し、新しい行を追加し、パターンに従います。
- 結果は次のようになります:[サブメニュー](チャ

ット)

```
[exec] (Zoom) {zoom}
```

```
[end]
```

注：一部のアプリの実際の起動コマンドは、名前と一致しない場合があります。

## 3.2 その他のメニュー

### アプリケーション

- **Appfinder** (MX アイコン)。これは tint2 のメインメニューであり、特別な Rofi テーマを使用する MX 拡張ツールバーです。コンテンツは自動的に `/usr/share/applications` から取得されます。メニューの左側にある質問マークをクリックすると設定アプリが開き、フォーマットを変更できます。
- **すべてのアプリ**。ルートメニューの上部にあるこの項目は、デスクトップファイル (`/usr/share/applications`) を使用して構造を設定します。その項目は、更新プログラムが実行されるたびにデフォルトで更新されます。

このメニューの自動更新を停止するには：MX Tweakを開き、[Other] タブを選択し、「Generate Fluxbox All Apps menu...」のチェックを外します。その後、必要に応じて下部のメニュー項目「Update」を使用できます。

- **Rofi**。このアプリランチャーは、キーボードの「Super」（ロゴ）キーを押すことでアクセスできます。アルファベット順に整理されていますが、よく使用するアプリが上部に表示されます。[詳細はこちら](#)。

### その他

- **ウィンドウメニュー**。ウィンドウのタイトルバーを右クリックすると、重要なオプションが表示されます。特に「Remember...」サブメニュー内の位置やサイズに関するオプションが重要です。
- **ワークスペースメニュー**。デスクトップを中クリックすると一覧が表示されます。

## 3.3 スタイル (テーマ)

Fluxboxでは、伝統的に「スタイル」という言葉は、ウィンドウ、ツールバー、メニューの装飾方法を指定するシンプルなテキストファイルを指します。MXFBには、ネイティブスタイルのグループと数種類の選択可能なスタイルが付属しています。すべてはメニュー > 表示 > テーマから選択できます。

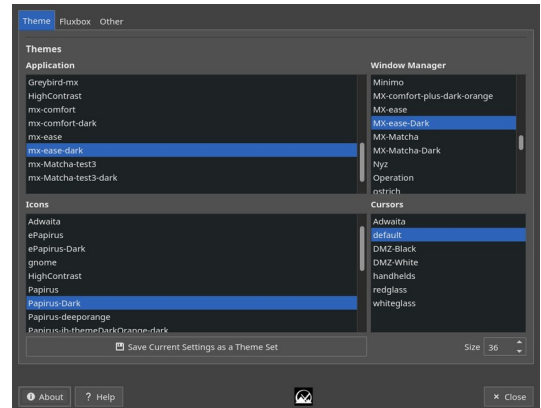
広義において、スタイルはテーマ、装飾、アイコン、カーソルの組み合わせと考えることができます。設定マネージャーにリストされている多くのツールは、スタイルの構成要素を迅速かつ便利に編集する機能を提供しています。

既存の伝統的なスタイルを手動で編集したい場合は、そのスタイルを`~/fluxbox/styles`にコピーし、名前を変更してから編集してください（リンク下のtenrによるスタイルガイドを参照）。伝統的なスタイルには壁紙を含めることができますが、MX-Fluxboxではデフォルトでブロックされています。設定を変更するには、メニューの「設定」→「設定ファイル」> *Overlay* の最上部の行を編集します。スタイルが背景を決定するようにするには、その行の先頭にハッシュマーク（#）を追加して、次のようにします：

！ 次の行は、スタイルが背景を設定するのを防ぎます。  
`#background: none`

## 選択

**MX Tweak**（テーマタブ）は、要素のテストや選択、それらを独自のテーマに組み合わせることを簡単に行えます。**MXFB Lookと連携し**、選択した要素を特定のグラフィック機能の集合体（“ルック”）として保存するオプションを提供します。MX-25 Fluxboxのデフォルトテーマは、ウィンドウとアプリケーションの装飾に**mx ease-dark**を使用しています。



## 3.4 壁紙

まず、オーバーレイファイルがスタイルの背景設定をブロックしていないことを確認してください。次に、メニュー> 表示> 壁紙> 選択をクリックして **Nitrogen** を起動し、利用可能な選択肢を表示します。デフォルトでは、ユーザーフォルダー（`~/fluxbox/backgrounds`）とシステム背景（`/usr/share/backgrounds`）が選択可能です。この設定により、ユーザーフォルダーに背景を追加し、メニューから選択できるようになります。他の背景ソースを追加するには、「設定」をクリックします。

その他のオプションやヒントについては、[MX Fluxbox: Traditional mode](#) を参照してください。

## 3.5 ショートカット

Fluxboxは、ユーザーがキーの組み合わせをショートカットとして設定できます。設定はファイル

`~/fluxbox/keys` に保存され、メニューの「>」→「Settings」→「>」→「Config files」→「>」→「Keys」から編集可能です。デフォルトのキーの便利な一覧は、MXFB ツールの「Shortcuts」で確認できます。また、conky 設定ファイル「MX-FluxKeys」も利用可能です。

一部のキーの名前は少し分かりにくいものです：

- Mod1= Alt
- Mod4= ロゴキー（Windows、Apple）

MX-Fluxboxには専用のファンクションキーショートカットが用意されています：

- Ctrl+F1: MX-Fluxbox ドキュメント
- Ctrl+F2: コマンドを実行; ターミナル入力が必要なコマンドを入力した場合、Ctrl+Enter を使用してください。
- Ctrl+F3: ファイルマネージャー

- F4: ドロップダウンターミナル
- Ctrl+F5: MX Tools
- F12: 画面消去

## 3.6 設定ファイル

Fluxbox の基本設定はすべて、`~/fluxbox/` ディレクトリ内の [テキストファイルセット](#) で管理されており、メニューから 「>」 → 「Settings」 → 「>」 → 「Config files」 を選択することで簡単にアクセスできます。ほとんどの設定は手動で変更する必要がありますが、`init` ファイル内には一部の設定に関するヘルプが用意されています。

- **apps**: ウィンドウのプロパティに基づくアクション
- **init**: メイン設定ファイル
- **keys**: ショートカットとキーバインド
- **メニュー**: Fluxbox のデフォルトは使用されていません。ここでは `menu-mx` に置き換えられています
- **オーバーレイ**: すべてのスタイルを上書きするスタイルリソース

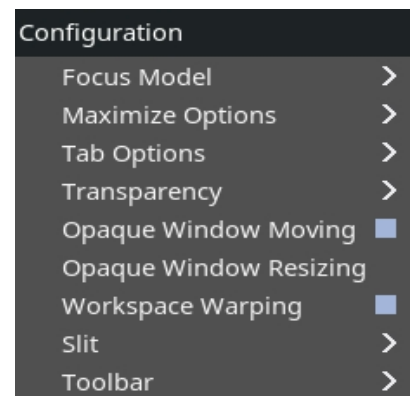
設定ファイルの編集を開始する前に、現在の設定をバックアップしてください。問題が発生した場合、以前の設定に戻すことができます。

### *init*

このファイルには、Fluxbox の見た目と動作を決定する多くのプロパティがリストされています。手動で編集する必要があり、その際の [詳細なリファレンス文書](#) が非常に役立ちます。

`init` は重要かつ複雑なため、MX Fluxbox には3つのユーザー支援ツールが用意されています:

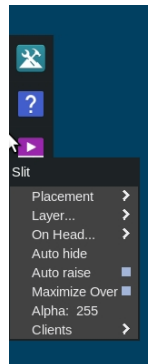
- Fluxboxネイティブ設定アプリ（画像）：メニュー> 設定 &gt; 設定ファイル &gt; クイック設定
- **MX Tweak** の「Fluxbox」タブで頻繁に変更されるプロパティ
- メニュー &gt; 設定 &gt; 設定ファイル> Init> Categorize をクリックすることで、`init` をカテゴリ別に再編成するオプション機能です。これにより、特定のグループを編集する際の理解が容易になり、非常に便利です。



## 3.7 Slit

Slitは当初、[ドックアプリ用の](#)コンテナとして設計されましたが、MXFBでは`wmalauncher`を使用することで主にドックとして使用されています。そのプロパティは、ドックのアイコンの間にあるドックの背面を右クリックすることでアクセスできます。

このターミナルコマンドでデフォルトのリポジトリからドックアプリを検索できます：`apt-cache search dockapp`  
ただし、リポジトリに存在する多くのアプリは正常に動作しない可能性があります。



## 3.8 オーバーレイ

Fluxboxは、ユーザーがオーバーレイファイル `~/fluxbox/overlay` 経由で全スタイルをグローバルに上書き可能です。このファイルは、メニューの `>` → `Settings` → `>` → `Configure` → `>` → `Overlay` から編集可能です。MX-25で追加されたMXFBツールバーの設定（セクション4）もここに格納されています。オーバーレイファイルで定義された要素設定は、Fluxboxの設定ファイル内の他の設定を上書きします。

## 3.9 ウィンドウ設定とコントロール

ウィンドウの移動と調整は、さまざまなキーとマウスの組み合わせで制御できます

- リサイズ: `Alt`+ 右クリックし、変更したい角の近くでドラッグ。
- 移動: `Alt`+`+` を押しながら左クリックし、ドラッグします。
- Stick: 画面の左上にある小さなアイコンをクリックして、ウィンドウをすべてのデスクトップに表示します。
- オプション: ウィンドウの上部ツールバーを右クリックします。特に便利な機能は、サイズと位置を記憶するオプション（`~/fluxbox/apps` に記録されます）です。
- タブ機能: 複数のウィンドウをタブ形式で1つのウィンドウに統合するには、1つのウィンドウのタイトルバーを`Ctrl`キーを押しながらクリックしてドラッグし、別のウィンドウにドロップします。逆の手順で分離できます。
- ウィンドウをタイトルバーに縮小（「シェード」）: タイトルバーをダブルクリックします。

## 3.10 画面オプション

- 明るさ: メニュー `>` → `MX Fluxbox tools` → `>` → `Tools` → `>` → `Brightness systray`
- ブランキング: メニュー `>` 設定 `>` 表示 `>` スクリーンセーバー
- キャプチャ: `mxfb-quickshot`。Print Screen ボタン（別名 Print、`PrtSc` など）または `Alt+q` キーでトリガーされます。インタラクティブです。`Ctrl+Alt+q` キーで8秒の遅延を設定し、画面全体のみをキャプチャします。
- タイリング: `Alt+&lt;数字1-9&gt;`、詳細はキーファイルの下部に記載されています。
- 解像度: メニュー `>` 設定 `>` ディスプレイ `>` 変更 (`arandr`)。変更内容を保存する方法については、「Help」ファイルをご確認ください。



## 4. FAQ検索

どうすれば...	デスクトップから	アプリから
ルートメニューを開く	デスクトップを右クリック	
プログラムXを開く	ルートメニュー> すべてのアプリ	
	MX ロゴをクリック (Appfinder)	
	Windows キーまたは Apple キーを押す (rofi)	
新しいアプリをインストール	ソフトウェアアイコン	MX パッケージ インストーラー
デスクトップアイコンの表示/非表示を切り替える	メニュー> 非表示 &gt; iDeskの表示/非表示を切り替える	
別のConkyに変更	Conky マネージャー	
	メニュー> 外観> Conky	
Conkyの表示/非表示を切り替える	メニュー> 画面外 &gt; Conkyの表示/非表示を切り替える	
異なるパネルを選択		設定マネージャー> tint2manager
パネルを編集		tint2settings
ドック内のアイテムを編集	メニュー> 外観> Dockmaker	
	Rofi ドック用> Rofi マネージャー	
ウィンドウの外観を変更する タイトルバーとFBメニュー	メニュー> 外観> スタイル	

ウィンドウの内容、アイコン、 フォントの外観を変更する	メニュー> 外観> テーマ	設定マネージャー> 見た目と操作感をカスタマイズ
	MX-Tweak	
壁紙を変更	メニュー> 表示> 壁紙	Nitrogen
ショートカットキーを編集	メニュー> 設定> 設定ファイル &gt; キー	
ルートメニューを編集	メニュー> 設定> 設定ファイル &gt; メニュー	
デスクトップアイテムの削除	メニュー> 非表示にする >	
ターミナルを開く	メニュー> ターミナル	Xfce4-terminal またはお好みのターミナル

## 5. リンク

マニュアルファイル（ターミナル [またはhttps://linux.die.net/man/](https://linux.die.net/man/)）：

- fluxbox
- fluxbox-keys
- fluxstyle
- fluxbox-remote

<https://wiki.archlinux.org/index.php/Fluxbox>一部のコマンド

はArch固有です

[http://www.tenr.de/howto/style\\_fluxbox/style\\_fluxbox.html](http://www.tenr.de/howto/style_fluxbox/style_fluxbox.html)Fluxboxのスタイルに関する主要なドキュメント

<https://ubuntuforums.org/showthread.php?t=617812>

fluxboxのキー設定に関する優れたスレッドですが、残念ながら現在登録が必要となっています

<https://wiki.debian.org/FluxBox>基本機能に関する

良いガイド

<https://github.com/MX-Linux/mx-fluxbox>MX-Fluxboxの

GitHubリポジトリ

<https://mxlinux.org/wiki/help-files/help-mx-fluxbox/>MX-FluxboxのWikiペ

ージ

<https://mxlinux.org/wiki/help-files/help-rofi/> Rofiの詳細な解説

<https://mxlinux.org/wiki/mx-fluxbox-traditional-mode/> 伝統的なモードでの

実行に関するヒントとトリック

<https://bit.ly/2Sm1PJI> YouTube: MX-

Fluxbox シリーズ